『表現学』創刊号（2015年3月15日）抜刷
大正大学表現学部表現文化学科

「日本語検定」問題にみる誤用に関する一考察

中 島　紀 子

「日本語検定」問題にみる誤用に関する一考察

中 島　紀 子

１．はじめに

最近、ある飲食店で 30 代と見受けられる男性店員から「ただ今、お冷のほうお持ちします」と言われ、「～のほう」という言い方を久しぶりに耳にする気がした。また、以前から近所の薬局で記名を頼まれるたびに、一人の女性店員から「お名前様頂戴できますでしょうか」と言われ違和感を覚えていたが、このような「～のほう」「お名前を頂戴する」などの規範的とは言い難い表現は、一般にどのように扱われているのだろうか。

本稿では、表現の誤用のうち敬語を中心に、その周辺にある文法を取り上げ分析を試みる。近年起こっている誤用の変化を検証するため、ここ数年の間に出題されている試験問題を取り上げることとした。敬語の歴史的な流れを見るものではなく、共時的に誤用の現象のみを取り上げ分析するものである。

一般に、試験の選択問題には解答者が間違って選びそうな選択肢が入っている。そこで、選択問題の正答以外の選択肢に着目すれば、誤用の何らかの傾向がみえてくるのではないかと推察し調査することとした。同時に、本学部の学生にアンケートを実施し、最近多く誤用がみられる表現に関する調査を試みた。また、文化庁による「国語に関する世論調査」ではどのような結果が出ているかも照らし合わせた。

２．敬語の指針

平成19年2月2日付に文化審議会答申で「敬語の指針」が発表された。従来の学校教育等で取り決められている「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」の敬語の三分類を、以下のとおり、謙譲語を「謙譲語Ⅰ」「謙譲語Ⅱ（丁重語）」の２種類に、丁寧語を「丁寧語」と「美化語」の２種類に分け、敬語を五分類とした。指針では、謙譲語として一括されてきた謙譲語のⅠとⅡは、敬語としての性格をよりはっきり理解するために特に必要な区分けであったとある。

（1）**尊敬語**「いらっしゃる・おっしゃる」型：
相手側又は第三者の行為・ものごと・状態などについて、その人物を立てて述べるもの。（「立てる」という用語は、「言葉の上で人物を高く位置づけて述べる」という意味で用いる、とされている。）
「行く→いらっしゃる」のように特定の語形（特定形）による場合と、「お（ご）……になる」（例、読む→お読みになる、利用する→御利用になる）のように広くいろいろな語に適用できる一般的な語形（一般形）を使う場合とがある。

（2）**謙譲語Ⅰ**「伺う・申し上げる」型：
自分側から相手側又は第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べるもの。
「訪ねる→伺う」のように特定の語形（特定形）による場合と、「お（ご）……する」（例：届ける→お届する、案内する→御案内する）のように広くいろいろな語に適用できる一般的な語形（一般形）を使う場合とがある。

（3）**謙譲語Ⅱ**（丁重語）「参る・申す」型：
自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁重に述べるもの。
「参る」などの幾つかの特定の語形のほかには、一般的な語形としては、「……いたす」があるだけである。

（4）**丁寧語**「です・ます」型：
話や文章の相手に対して丁重に述べるもの。

（5）**美化語**「お酒・お料理」型：
ものごとを、美化して述べるもの。

３．「日本語検定」にみる誤用

試験問題を分析するにあたり、日本語に関する試験の中から、過去の試験問題を公表しており、受験者が限られておらず誰でも受験が可能で、受験者にとって適切な受験級のおおよその目安もわかる、特定非営利活動法人日本語検定委員会主催の「日本語検定」の問題をもとにすることとした。

「日本語検定」は「敬語の指針」が出された同じ年の平成19年6月16日に第1回目の検定試験が行われ、それ以降、6月と10月又は11月の毎年2度実施されている日本語の総合的な運用力（敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字の6つの領域）を測定する検定である。本稿では、過去の試験問題のうち、高校卒業程度が目安とされている3級を中心に（特に記載のないものは全て3級の出題である）、敬語表現に関する問題と、また同じ設問に出てくる文法問題を取り上げ、動詞に焦点を当て傾向をみていく。

3.1　敬語表現の誤用

3級の過去問題集をみていくと、平成19年に検定試験が始まって以来、常に選択肢に出てきた誤用があり、それらは、概ね以下のパターンに分けられる。（設問の下に出題年、(1)はその年の第一回実施、(2)は第二回実施、出題番号を記した）

3.1.1　尊敬語と謙譲語の混同・混用

（1）謙譲語Ⅰ・Ⅱを尊敬語として扱った誤用

01【社の今後の営業方針に関する研修会の司会をして】
下山部長に実例を示してもらったように、今までにはない事例が生じています。
［①お示ししていただいた　②お示しいただいた　③示してもらいました］

H20(2)問1四

02【授業が終わって先生に】
先生が昨日の授業で薦めていた映画が、来週テレビで放映されるようですよ。
［①お薦めになられていた　②お薦めしておられた　③お薦めになっていらっしゃった］

H22(1)問2一

03【新入社員に、自社商品の説明をする】
この教材は、全国の小学校や幼稚園で（　　）。
［①ご採用いただいています　②ご採用していただいています　③ご採用いたしていただいています］

H23(2)問1二

01から03の設問はいずれも相手側又は第三者の行為に対して尊敬表現を使用するべき場面である。「お／ご～する」は謙譲語Ⅰの一般的な語形（以下、一般形）であり、本来、「示す／薦める／採用する」の動作主である相手側の行為には使えない。「お示ししていただいた／お薦めしておられた／ご採用していただいています」は、尊敬表現を使うべき場面で、「お／ご～する」の謙譲表現を用いた誤用例である。

04【会議で市場調査の結果をする】
何かご不明な点がございましたら、随時（　　）。
［①ご質問ください　②お伺いください　③尋ねてください］

H24(2)問1一

05【科学館のホームページの利用案内で】
休館日については「来館案内」を（　　）。
［①ご覧してください　②拝見なさってください　③ご覧ください］

H25(2)問1三

06【高校時代のクラス会で】
ただいま先生も言ったように、わたしたちのクラスには個性あふれる生徒がそろっていました。
［①申されました　②申しました　③おっしゃいました］

H19(2)問1四

07【受付からの電話を受けて】
課長、△△社の清水様が（　　）。
［①参られました　②いらっしゃられました　③お見えになりました］

H24(1)問4ア

08【菓子店の店員と客とのやりとり】
店員：ご試食（　　）。
［①いたしますか　②なさいますか　③いたされますか］

H25(1)問4イ

04から08のいずれの設問も尊敬表現を使用するべき場面である。04と05にある「伺う／拝見する」は謙譲語Ⅰの特定の語形（以下、特定形）の謙譲表現であり、相手側の行為には使えない。謙譲語を尊敬語の「お～ください」「なさる」と接続させても、尊敬語にはならない。同様に、06から08にある謙譲語Ⅱの特定形「申す／参る／いたす」も尊敬表現を使うべき場面で謙譲語を用いた誤用例である。

（2）尊敬語を謙譲語（主に謙譲語Ⅰ）とする誤用

09 この郷土史に関する本を借りたいのですが。

［①借りさせていただきたい　②お借りになりたい　③拝借したい　④ご拝借したい］

H19(2)問3 二

10【大学生の横川さんがアルバイト募集の記事を見て店に電話をしたとき】

横川：明日でよろしいですか。何時に（　　）よろしいでしょうか。

［①お伺いになれば　②お伺いすれば　③お伺いされれば］

H22(1)問4 カ

11【遊園地で、新人のアルバイトスタッフに客の誘導を指示して】

西田君、出口までお客様を（　　）。

［1ご案内になってください　2ご案内してください　3ご案内なさってください］

H23(1)問1 四

09 から 11 は、相手側又は第三者に向かう行為に対して謙譲表現を用いる場面である。「借りる／伺う／案内する」に謙譲語Ⅰの一般形「お／ご～する」をつけなければならないが、尊敬語の一般形である「お／ご～になる」を使い、「お借りになる／お伺いになる／ご案内になる」と、尊敬語を用いた誤用である。なお、「伺う」は謙譲語Ⅰの特定形のため「お～する」をつける必要はないが、今回は選択肢には入っていない。

12【大学生の横川さんがアルバイト募集の記事を見て店に電話をしたとき】

横川：ホームページで、そちらのアルバイト募集の記事を（　　）お電話をいたしました。

［①見て　②拝見して　③ご覧になって］

H22(1)問4 ア

13【友人の結婚披露宴で受付をすることになった佐藤さんが、招待客に応対しているとき】

会場の準備が整いましたら（　　）。

［①ご案内いたします　②ご案内なさいます　③ご案内になります］

H23(1)問4 エ

14【会社の上役にかかってきた取引先からの電話に】

申し訳ございません。工藤はただ今（　　）。

［1外出していらっしゃいます　2外出しております　3外出されております］

H25(2)問1 四

12 から 14 についても、謙譲表現を用いる場面で「見る」が尊敬語の一般形の変則的な「ご覧になる」、「する／いる」が尊敬語の特定形「なさる／いらっしゃる」の形で選択肢に入っている。

3.1.1 でみたように、尊敬語と謙譲語の混同・混用の中でも、特に尊敬表現を使用すべき場面で、謙譲語Ⅰの一般形「お／ご～する」に尊敬の助動詞「れる」を接続させる誤用が多い。この現象は、尊敬語の一般形「お／ご～になる」と謙譲語Ⅰの一般形「お／ご～する」が語の形として類似しており、言葉の経済性の観点から、ひとつの言い方に集約してしまおうとする無意識の力が働き、尊敬語を使うべき場面においても、謙譲語の「お／ご～する」を使用する誤用が多いとは考えられないだろうか。

3.1.2　過剰敬語

（1）過剰な尊敬表現

15 おばさん、あの映画は先週見ましたが、とてもおもしろいですよ。ぜひ見るといいですよ。

［①ご覧になられる　②ご覧になる　③ご覧くださる　④ご覧される］

H19(1)問3 二

16【サークルのＯＢに】

サークルで忘年会を企画しているのですが、先輩も来ませんか。

［①いらっしゃられませんか　②いらっしゃいませんか　③おいでになられませんか］

H19(2)問1 五

17【近所の人から、その家のおじいさんを見なかったかと聞かれて】

おじいさんなら、今うちで祖父と将棋をしていますよ。

［①将棋をなさって　②将棋をなされて　③将棋をいたして］

H22(2)問2 四

15 から 17 にある「ご覧になる／いらっしゃる／なさる」はそれ自体が尊敬語である。「ご覧になられる／いらっしゃられませんか・おいでになられませんか／将棋をなされて」は尊敬語にさらに尊敬を表す助動詞「れる」が付け加えられている。

この他、お求めになられやすい・お待ちになられてください・お聞きになられていた・お越しになられた・お忘れになられた・お薦めになられていた・お休みになられている・お預けになられてください等、尊敬表現「お／ご～になる」に尊敬の助動詞「れる」をつける形が頻繁に選択肢にでてくる。

（2）過剰な謙譲表現

18【スポーツ用品店の店員と客とのやりとり】
定員：……△△店に在庫がございましたので、明日の夕方には（　　）ます。
［①ご用意でき　②ご用意できれ　③ご用意できられ］

H23(2)問4オ

19【担当者の不在中に取引先からのクレームを電話で受けて】
申し訳ございません。田中様のおっしゃったことは担当の山本に必ず（　　）。
［①申し上げます　②申し伝えます　③お伝えします］

H25(2)問1二

20【数日後に改めて着てみるとサイズが合わなかったので、交換してもらえるかどうか、店に電話をかけたとき】
谷：では、今日にでも伺い申しますので、よろしくお願いします。

H20(2)問3コ

21 この郷土史に関する本を借りたいのですが。
［①借りさせていただきたい　②お借りになりたい　③拝借したい　④ご拝借したい］

H19(2)問3二

18 は謙譲語Ⅰ「ご用意する」の可能形「ご用意できる」にさらに尊敬の助動詞「れる」をつけた形となっている。19 の「申し上げる」は謙譲語Ⅰの特定形、「お伝えします」は謙譲語Ⅰの一般形「お～する」がつき、どちらも自分側の社内の人間に謙譲表現を使っていることになり不適切である。20 のように二択問題（○か×か）では、「伺う」と「申す」を続けて使う謙譲語の二重の形が多く出題されている。21（便宜的に 09 と区別）に見られるような、謙譲語Ⅰの特定形「拝借する」にさらに「ご（～する）」をつけている例もある。

（3）二重敬語 ＋「れる」

22【レストランのシェフが客に向かって】
いかがでしたでしょう。料理はおいしく食べてもらえましたでしょうか。
［①お召し上がりしていただけ　②お召し上がりいただけ　③お召し上がりになられ］

H19(1)問5二

23【洋服売り場で、客にコーディネートを提案して】
その上にこちらを着るとよくお似合いになりますよ。
［①お召しになる　②お召しになられる　③お召しされる］

H20(2)問2三

24【引退した部活動の先輩から、次の練習試合を見に行くつもりだと言われて】
ありがとうございます。先輩が来ると聞いたら、部員たちもきっと喜ぶと思います。
［①お見えされる　②お見えになられる　③お見えになる］

H22(2)問2三

22 から 24 にある「召し上がる」「見える」は尊敬語の特定形だが、「お召し上がりになる」「お見えになる」は習慣として定着している二重敬語として認められている。「お召し上がりになられ」「お見えになられる」はさらに尊敬を表す助動詞「れる」がつく過剰敬語となっている。「敬語の指針」においては、習慣として定着している二重敬語として「お召し上がりになる」「お見えになる」のみ記載されているが、菊地（1997）にもあるように「お召しになる←着る」も習慣として定着している二重敬語と考えられている。また、二重敬語の中には以下のように定着している謙譲語もある。

謙譲語Ⅰ：お伺いする、お伺いいたす、お伺い申し上げる

（4）丁寧語 ＋「です・ます」

25【数日後に改めて着てみるとサイズが合わなかったので、交換してもらえるかどうか、店に電話をかけたとき】
谷：それが、何日か前なもので、レシートが見当たりませんのですが。

H20(2)問3オ

25 は客の発話として「見当たらないのですが」「見当たりません」で十分丁寧であるが、非文法で明らかに過剰な敬語表現となっている。

以上、3.1 では敬語表現の誤用に関してみてきたが、平成 26 年度の試験においても、以下のような選択肢があり、まだまだ誤用が多いことが推測される。

26【スポーツジムの受付係が新規の入会希望者に】
お申込みありがとうございます。それではこちらの書類に（　　）ください。
［①ご記入　②ご記入して　③ご記入されて］

H26(1)問1一

27【先生を囲んでの会食がお開きになる前に、学生が先生にたずねて】
先生、お茶をもう一杯（　　）ますか。
［①召し上がり　②お召し上がりになられ　③お飲み

し］

H26(1)問1 二

28【看護師が患者に血液検査の結果について聞かれて】
恐れ入りますが、検査の結果は先生に直接（　　）ください。
［①うかがって　②おうかがい　③おたずね］

H26(1)問1 四

29【映画の完成披露会見で、司会者が記者に】
古谷監督に質問があるかたは（　　）か。
［①おります　②ございます　③いらっしゃいます］

H26(2)問1 二

30【上役に来客があることを知らせて】
ただいま山川印刷所の本田様が（　　）ました。
［①見え　②見えられ　③お見えされ］

H26(2)問1 五

3.2　可能表現の誤用

3.2.1　「ら抜き言葉」

31 お気に入りのセーターだったのに、こんなに縮んでしまったよ。もう着れないな。
［①（適切である）　②着られない　③着れれない］

H19(1)問5 二

32 朝夕は寒くなってきたので、薄着のままでは外に出られない。
［①（適切である）　②出れない　③出れれない］

H19(2)問5 一

33 この棒は短すぎて、材料をうまくかき混ぜれない。

H20(1)問4 一

34 パーティーも中だるみのようなので、このあたりでうまく場を盛り上げれるといいのだが。

H21(1)問4 一

31 から 34 の出題文は、規範から言えば、可能表現は「着る→着られない」「出る→出られない」「かき混ぜる→かき混ぜられる」「盛り上げる→盛り上げられる」となるところ、それぞれの可能表現から「ら」が抜け落ちている。「ら」が抜ける現象については、検定の初回から出題されていた。ただし、平成 20 年からは○×形式の問に変わっている。これは、いわゆる「ら抜き言葉」は誤用であることが知識として広まっていることを示しているのだろう。

3.2.2　「れ足す言葉」

35 先方から、九時までに社に来てほしいと言われました。六時台の新幹線に乗れますかね。
［①（適切である）　②乗られます　③乗れれます］

H19(1)問5 二

36 水泳は苦手ですが、二十五メートル程度だったら泳げます。
［①（適切である）　②泳げられます　③泳げれます］

H19(2)問5 五

37 このスープは辛すぎて、ふつうの人には飲めれないだろうな。

H20(2)問4 四

38【大学生の横川さんが、アルバイト募集の記事を見て店に電話をしたとき】
店長：M 大学なら、ここから歩いて（　　）ね。
［1行けられます　2行けれます　3行けます］

H22(1)問4 オ

35 から 38 では、「乗られます／泳げられます／行けられます」と「ら・られ」が、また、「乗れれます／泳げれます／飲めれない／行けれます」と「れ」が余計に入っている。これは、五段活用動詞の可能動詞に可能助動詞「れる・られる」を付けた形、又は下一段活用動詞の「ら抜き言葉」の未然形に相当するものに「れる」を足した形で、「れ足す」と呼ばれる誤用である。「ら抜き言葉」同様平成 19 年から出題されていたが、動詞によって誤用のおきやすさは異なる。

この他、着れれない（着れない）、乗れれます（乗れます）、下りれれる（下りれる）、責めれれる（責めれる）、帰ってこれれる（帰ってこれる）など多くの出題があるので、誤用として増える傾向にあるようだ。

3.2.3　サ行変格活用動詞の可能形

39 人生を豊かに生きるには、時間をいかにうまく活用せれるかが重要な条件だ。

H20(1)問4 三

40 この講演会を東西大学と共催せれれば、集まる聴衆の数も違ってくるよ。

H21(1)問4 五

41 在学中にこの資格が取得せれれば、就職活動が有利になるかもしれない。

H21(2)問4 五

39 から 41 の文にあるサ行変格活用動詞の可能形は「活用できる／共催できる／取得できる」であるので、「活用できるか／共催できれば／取得できれば」となるが、「する」が「できる」ではなく、「せれる」となっている。通常の生活の中ではあまり聞いたことがないが、これは書き言葉における誤用だろうか。

3.3　使役表現の誤用（「さ入れ言葉」）

42 木村さんがお帰りになるまで、ここで待たさせていただいてお差し支えございませんか。
［①（適切である）　②待たせ　③待たせさせ］
H19(1)問6一

43 授業が終わったら、できるだけ早くみんなを帰らせるようにしてください。
［①(適切である)　②帰らせさせる　③帰らさせる］
H19(2)問6二

44【友人の結婚披露宴で受付をすることになった佐藤さんが、招待客に対応しているとき】
招待客：後で、この楽器を会場内に（　　）ていただきたいのですが、かまいませんか。
［①持ち込ませ　②持ち込まさせ　③持ち込ませさせ］
H23(1)問4キ

42 から 44 は使役表現の誤用である。五段活用動詞の使役表現は動詞の未然形に「せる」をつけるので、「待つ→待たせる」「帰る→帰らせる」「持ち込む→持ち込ませる」が正しいが、「せる」の前に「さ」を入れる現象が起こっている。また、上一段活用動詞「着る」・下一段活用動詞「寝る」のように、動詞の語幹と活用語尾の区別がない場合に、いわゆる「さ入れ言葉」が生じている。

3.4　その他

3.4.1　「～的」

45 社会に出たら、どんなことに出会っても（　　）判断できる力が必要とされる。
［①とっさに　②とっさ的に　③とっさのように］
H20(2)6.1

45 のように「とっさ」に的を付ける言い方はない。「私的に」「僕的に」などという言い方を耳にしていた時期があったが、最近ではあまり聞かれなくなった。「個人的には」という規範的な言い方があるので、一時の流行であり定着するものではなかったようだ。

3.4.2　「とか」

46【高校三年生の谷口さんが、担任の先生に受験の相談に行ったとき】
谷口：先生、受験校のことでご相談とかしたいことがあるのですが。
H21(2)問3ア

46 では先生に対して「とか」ではなく「など」を使用すべきだが、相談の内容は「受験校のこと」単独であり、例示表現の「とか」を付ける必要はなく、謙譲表現の「ご相談したい」と言えばことが済む。

「日本語検定」では、平成 21 年度の試験に一度出題されたのみで、前後の検定試験問題には出てこず、「とか」が定着するまでにはいかなかったことがうかがえる。

3.4.3　「～のほう」

47【レストランの店員と客とのやりとり】
店員：お待たせいたしました。A ランチとホットコーヒー（　　）。
［①でございます　②になります　③のほうになります］
H25(2)問4カ

47 にある「～のほう」に関しては「とか」同様「日本語検定」において、平成 25 年度の試験に一度出たのみで、現在のところ、その前後の年には出題されていない。しかし、平成 25 年度秋に実施された１級の過去問題集を見ると、次の 48 の問題があり、薬局の女性店員が実際に使っている誤用が選択肢に入っている。実際の場面で耳にしたのは、この女性店員からだけなので、営業のマニュアル用語なのか、個人の敬語表現の使い方の問題なのかは不明である。

48【宴席の予約の電話を受けた店員が、客に】
恐れ入りますが、（　　）か。
［１お名前のほうよろしいでしょう　２お名前を伺えますでしょう　３お名前様頂戴できます　４お名前を頂けます］
H25(1)問1一

3.4.4　「させていただく」

49【来客を応接室へ案内する】
応接室へ案内します。どうぞこちらへ。
［①ご案内いたします　②ご案内させていただきます　③ご案内して差し上げます］
H19(2)問2五

50【来社し、営業部長への面談を申し入れた人に対して、受付の自分が】
ただ今、吉村に取り次ぎますので、しばらくお待ちください。
［①お取り次ぎいたします　②お取り次ぎしてさしあげます　③取り次ぎさせていただきます］
H20(1)問1三

51【アルバイト先で、客に店の営業時間を尋ねられて】
当店は、平日、朝九時から夜八時まで（　　）。
［１営業いたしております　２営業させていただきます　３営業いたして差し上げます］

H21(2)問1三

49から51のように「させていただく」を使えば丁寧になるというものではなく、「敬語の指針」では、以下のように定義している。

「(お・ご)……(さ)せていただく」といった敬語の形式は、基本的には、自分側が行うことを、ア)相手側又は第三者の許可を受けて行い、イ)そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちのある場合に使われる。

つまり、「させていただく」の本来の用法は、相手から許可・恩恵を得て、その与え手を高めるという敬意表現であるはずが、「案内する／取り次ぐ／営業する」という相手から許可・恩恵を得る必要のない場面で誤って使用されることが多い。

3.4.5 「お名前を頂戴する」

52【大学生の今野さんが、お祝いの花を注文するために花屋を訪れたとき】
店員：お名前と、ご住所、お電話番号を(　　)。
［1頂戴できますか　2いただけますか　3お教えいただけますか］

H22(2)問4カ

53【講演会の受付担当と講師の谷口さんとのやりとり】
受付：恐れ入りますが、お名前を(　　)か。
［1頂戴できます　2お聞きになれます　3お聞かせいただけます］

H24(2)問4イ

54【予約の確認の電話をしてきた客に名前を聞く】
ただいま確認いたしますので、お名前を(　　)もよろしいですか。
［1頂戴して　2お聞きして　3お聞きになられて］

H25(1)問1四

最近よく「お名前を頂戴する」という言い方を耳にするが、「名前をもらう」という言い方は社会的に必ずしも容認されているとは言えない。実際、薬局の女性店員から、「お名前様頂戴できますでしょうか」と言われるたびに違和感を覚える。52から54の選択肢に出てくる他、「聞く」の謙譲語「伺う」を使い、「お名前を伺えますか／伺ってもよろしいですか」などと言うのが、現時点では規範的と言えるだろう。

3.4.6 「よろしかったでしょうか」

55【眼鏡店の店員と客とのやりとり】
遠近両用レンズは受注生産ですので、通常ですとレンズが届くまで一週間はかかりますが、(　　)。
［1よろしいですか　2よろしかったでしょうか　3よろしいでしたか］

H26(1)問4エ

平成26年度の試験では、ここ数年耳にする「よろしかったでしょうか」が選択肢に入ってきている。何らかの前提または習慣があり、確認する場面で使用されるなら違和感は感じない。55の問題文のように直前の情報の授受に対し「よろしかったでしょうか」と聞かれるのは現時点では抵抗がある。

3.4.7 常套的な書き言葉

平成23年度の第2回目からは、56から58にあるような手紙文、礼状・封筒の表書き、メール文に関する設問が増えた。欠くことのできない知識である上に、間違いも多くあることがうかがえる。

56【就職希望先に応募書類を送る際の、封筒の表書きの左下に】
応募書類(　　)
［1在中　2封入　3親展］

H23(2)問2二

57【相手の要望に応えられない旨を伝えるメールで】
何とぞご(　　)くださいますようお願いいたします。
［1大赦　2容赦　3恩赦］

H24(2)問2二

58【就職祝いを送ってくれた親戚への礼状の最後に】
(　　)、書中をもってお礼申し上げます。
［1取り次ぎ　2取り急ぎ　3取り計らい］

H25(2)問2五

以上、「日本語検定」の選択問題から誤用を見てきたが、尊敬語の一般形は「お／ご～になる」に絞り、「～(ら)れる、～なさる、ご～なさる、お(ご)～だ、お(ご)～くださる」等、また謙譲語Iの一般形も「お／ご～する」のみを取り上げ、「お／ご～申し上げる、～ていただく、お／ご～いただく」等には触れられなかった。また、非文法的な表現や、そもそもない敬語表現等も割愛した。

4．アンケート調査

平成26年10月10日(金)、一年生の必修科目である「基礎技法A―2」の授業内において約10分程時間をいただき、本学部の一年生にアンケートに協力し

てもらった。今回は、平成19年2月2日に答申が発表されたときに小学校6年生で、平成20年4月に中学校へ入学以降、答申に準じた国語教育を受けてきたと思われる、現在18歳、19歳の学生を対象とした。そのため、219名の被験者のうち、20歳（1名）、21歳（2名）、年齢無記入（2名）、時間切れで全問に回答が寄せられなかった（2名）学生計7名を除く、212名の有効回答を得た。

今回は「日本語検定」受験を仮定し考察を行ったため、被験者の男女差、出身地、生活形態などはアンケートに反映させていない。

＜アンケート結果（1）＞

アンケートの問1の設問（表1）では、①尊敬語と謙譲語を混用した表現、②正式な場における一人称の扱い、③「とか」の使用、④「のほう」の使用に関して違和感を感じるかどうかの調査を行った。

①は実際に経験したおかしな日本語に関して質問をしてみたところ、57人（26.9%）の人が適切であると回答した。これは、使用場面がコンビニであり、店員が丁寧な接客を心掛けていることが読み取れるため、適切であると感じのだろうと推測できる。

一方、適切ではないと回答した人の中に、以下のように「どこがおかしいと思うか」の記述があった。

〔正しい文に訂正した例〕

お分けいたしますか／お分けしますか／お分けしましょうか／別の袋にお入れしますか／別々にしますか／

〔正しくない文に訂正した例〕

袋をお分けになられますか

回答の中には「敬意の方向が自分に向かっている」「袋を分けるのは店員だから、これでは客が分けることになる」と指摘したものがあった。しかし、大変少数ではあるが、謙譲表現を使用すべき場面で尊敬語の一般形「お～になる」を用い、さらに尊敬の助動詞「れる」をつけた形の文に訂正した人がいた。

②で「適切ではない」と回答した学生のうち「自分」という言い方がおかしいと答えた学生は51名（全体の24.0%）だった。被験者が一年生のためか、「自分」という言い方に違和感を感じない人も多いようだ。

③で「適切ではない」と回答した学生のうち「とか」という言い方がおかしいと答えた学生は142名（全体の66.9%）で、「とか」はあまり使われなくなっていることがわかる。

④で「適切ではない」と回答した学生のうち「のほう」の使い方を指摘した学生は60名（全体の28.3%）だった。別の名詞についた場合にはこれほどの誤答はなかったかもしれないが、「お名前のほう」という表現は日常生活の中で耳にする機会があるのかもしれない。

表1　アンケート調査（1）

問1］以下の会話を耳にした際、違和感を感じますか。直感で答えてください。適切でないと感じる場合、どこがおかしいと思うか書いてください。	適切	適切ではない	未回答
①　［ コンビニで、客がアイスクリームと箱ティッシュを一緒に購入した場面 ］ 店員：　袋をお分けされますか。 2014.2.20 コンビニにて	57	155 (73.1%)	
②　［ 会社の入社試験の面接場面 ］ 面接官：学生時代の思い出で一番つらかったことは何ですか。 学生：　自分が最もつらかったのは一年のときのクラブ合宿です。 日本語検定公式テキスト「日本語」上級　P33（自分の呼び方）	85	126 (59.4%)	1
③　［ 高校３年生が担任の先生に受験の相談に行った場面 ］ 学生：先生、受験校のことでご相談とかしたいことがあるのですが。 教員：いいですよ、どうぞ。 H21(2)問3ア	49	163 (76.8%)	
④　［ 宴会の予約の電話を受けた店員が客に話している場面 ］ 客：　来週の土曜日夜の７時から５名で予約をしたいんですが。 店員：恐れ入りますが、お名前のほうよろしいでしょうか。 1級H26(1)問1ー	101	111 (52.3%)	

表２　アンケート調査（２）

問２］次のことを言うとき、下線部の言い方は適切でしょうか。	○	×
①この進みぐあいでは、とても期限までに課題を仕上げられそうにない。 H23(1)問３一	180 84.9%	32
②係の者に車を呼ばさせていますから、しばらくお待ちください。 H23(1)問３四	39	173 81.6%
③厚みが２センチなので、ヤマト運輸のメール便で出せれると思う。 2014.2.20 コンビニにて	11	200 94.3%
④遅くなっても待っていますから、来れたら来てください。 H20(2)問４三	115	97 45.7%
⑤妹は、何度も父に頼んで、やっとヨーロッパに旅立たさせてもらえることになった。 H20(2)問５一	100	112 52.8%
⑥今度の会議では、自分の考えを述べたいと考えておりますので、ぜひ発言させてください。 H20(1)問５四	181 85.3%	31
⑦あの人は、いつもわたしを困らさせるようなことばかりする。 ２級H20(1)問４四	60	152 71.6%
⑧何にしても、そこまでのめり込めれるのは、見方によればうらやましいことだ。 ２級H20(1)問５三	46	166 78.3%
⑨このスープは辛すぎて、ふつうの人には飲めれないだろうな。 H20(2)問４四	14	198 93.3%
⑩子どもなら、このくらいのすき間からでもはい出れるかな。 H20(2)問４一	74	138 65.0%

＜アンケート結果（２）＞

アンケートの問２の設問（表２）は、①から⑩の文が適切であるかどうかを判断する問題である。

②、⑤、⑦は使役表現で、「呼ぶ→呼ばせる」「旅立つ→旅立たせる」「困る→困らせる」とならなければならないが、それぞれ必要のない「さ」が入った「さ入れ」言葉の問題である。これに対し、②呼ばさせて 81.6%⑤旅立たさせて 52.8%⑦困らさせる 71.6%と、正答率が文（動詞）によって分かれた。「旅立たせる」に関しては 47.2%の人が正解を出すことができなかった。これは、複合語になると紛らわしく、わかりづらくなるという理由からだろうか。理由を検証するためには、調査対象の動詞を種類別に増やし、分析できる調査が必要となる。

③、⑧、⑨は可能表現で、正しくは「出す→出せる」「のめり込む→のめり込める」「飲む→飲めない」である。問題の「れ足す」言葉については、③出せれる 94.3%⑧のめり込めれる 78.3%⑨飲めれない 93.3%の高い正答率だった。他の２問に比べて、⑧の正答率が下がるのは、やはり複合語だからだろうか。

④、⑩も可能表現で、「来る→来られる」「はい出る→はい出られる」でなければならない。これは「ら抜き」の問題であるが、④来れたら（ら抜き）45.7%⑩はい出れる（ら抜き）65.0%の正答率で、「来る」の「ら抜き」の浸透が非常に進んでいることがよくわかる。

「ら抜き言葉」という誤用について、学生ならこれまでに一度は聞いたことがあると思うので、それでも適切だと答える人がこれだけ多いということは、意識をしないほど、「来る」の「ら抜き」現象は進んでいるのかもしれない。

①は「仕上げる」に可能を表す助動詞「られる」がついた可能形、⑥はサ行変格活用動詞「発言する」の使役形「発言させる」であるが、いずれも適切な表現であったためか非常に正答率が高かった。

今回は、使役表現の「さ入れ」、可能表現の「れ足す」「ら抜き」と調査内容が多かったにも関わらず、設問が少なかったために、詳細が分析できるほどのデータが収集できなかったので、次回の課題としたい。

表３　アンケート調査（３）

問3]【　　】のような場面で、それぞれの（　　）部分はどのような言い方をすればよいでしょうか。最も適切なものを選んで番号で答えてください。	回答数
①　【 就職の面接で、志望動機について話す 】 廃材のリサイクルに（　　）御社の事業に魅力を感じております。 １．お取り組みされている ２．お取り組みになっている ３．お取り組みになられている 未回答 H24(2)問１三	 ５２ ６４ ９５ １
②　【 店員が、客に店の会員カードの申込書を書いてもらう 】 こちらの用紙に、お名前とご住所を（　　）ますか。 １．ご記入いただけ ２．ご記入していただけ ３．ご記入なさられていただけ H22(1)問１四	 ７７ １３４ １
③　【 予約の確認の電話をしてきた客に名前を聞く 】 ただ今確認いたしますので、お名前を（　　）もよろしいですか。 １．頂戴して ２．お聞きして ３．お聞きになられて H25(1)問１四	 ５１ １５９ ２
④　【 バスの車内放送で 】 １．お降りになる際は、忘れ物をいたされぬようご注意ください。 ２．お降りの際は、お忘れ物をなさらないようご注意いたしてください。 ３．お降りの際は、忘れ物をなさいませんようご注意ください。 未回答 2級H24(2)問２二	 ２ ２５ １８４ １

＜アンケート結果（３）＞

アンケートの問３の設問（表３）は、三択で敬語の正しい言い方を選ぶ問題である。

①は尊敬語に関する問いだが、１は謙譲語Ｉの一般形「お…する」に尊敬の助動詞「れる」をつけた誤答、３は尊敬語「お～になる」にさらに尊敬の助動詞「れる」をつけた二重敬語で誤っている。１を選択した人が24.5%、３を選択した人が44.8%と、正答率はわずか30.1%に過ぎなかった。

②は謙譲語に関する質問だが、選択肢２は謙譲語Ｉの一般形「ご～する」に「いただく」がついた形なので誤答であるが、正解者を遥かに超え、63.2%の人が２を選択している。尊敬語を用いる場合は、「ご記入いただけますか」「ご記入なさってください」などとなるだろう。

③は最近耳にする「名前をもらう（お名前を頂戴する）」という表現で誤答だが、ほぼ４分の一に当たる24.0%の人が１を選んでいる。

④はよく公共の車内放送で聞く表現だが、86.7%の人が正しい答えを選んでいる。これは、多くの被験者が生活の場でよく耳にしていることが考えられるため、正しい表現が身についているのだろう。

今回のアンケート結果を見るかぎりでは、「日本語検定」の誤答にみる、敬語表現の誤用（尊敬語または謙譲語に尊敬の助動詞「れる」をつける、謙譲語「お／ご～いただく」に「する」を入れ、「お／ご～していただく」の誤り）や「ら抜き」言葉・「さ入れ」言葉等の現象を本学部の一年生の調査にも見て取れる。「自分」や「のほう」などの言い方も文によってはまだまだ規範的とは言えない使い方がされているようである。

５．文化庁の「国語に関する世論調査」

表４　「言葉の使い方―気になるかどうか」

	気になる	気にならない	どちらとも言えない	分からない
①あしたは休まさせていただきます				
平成８年度	33.3%	64.6%	1.8%	0.4%
平成14年度	57.1%	36.7%	5.4%	0.8%
平成25年度	54.5%			
②お会計のほう、１万円になります				
平成８年度	32.4%	63.7%	3.4%	0.5%
平成14年度	50.6%	40.7%	7.4%	1.3%
平成25年度	63.5%			
③お客様がお見えになった				
平成７年度	調べなし	調べなし	調べなし	
平成15年度	29.9%	60.0%	9.3%	
平成25年度	38.2%	51.9%	9.6%	
④３時に御出発される予定です				
平成７年度	35.4%	60.8%	2.7%	
平成15年度	44.0%	43.0%	11.8%	
平成25年度	40.1%	45.7%	13.4%	
⑤先生がおっしゃられたように				
平成７年度	24.5%	71.9%	2.5%	
平成15年度	28.2%	62.3%	8.5%	
平成25年度	28.1%	61.1%	10.5%	

文化庁「国語に関する世論調査」平成25年度（抜粋）

文化庁による平成25年度「国語に関する世論調査」の結果が発表された。そのうち目上の人やお客様に対することばづかいを中心に「気になる言い方かどうか」を尋ねる調査に関する回答は表４のとおりである。

①は使役表現「休む→休ませていただく」に必要のない「さ」が入った「さ入れ」言葉の調査である。平成８年に比べると、平成14年、25年は、気になると答えた人の割合が増えている。

②の「のほう」に関する調査では、平成８年に比べ、平成14年、25年と気になると答えた人の割合が増え続けている。「日本語検定」にも取り上げられず、表現学部の学生も気になると答えた「のほう」は誤った使い方であるとの認識が広まっていくであろう。

③は「敬語の指針」で“習慣として定着している二重敬語である”と定義されているとおり、気にならないと答えた人の割合が高い。ただし、平成15年と25年を比べると気になると答えた人が８ポイント以上増えているので、何らかの理由があるのだろう。

④は謙譲語Ⅰの一般形「御出発する」に尊敬の助動詞「れる」をつけた誤用である。表３のアンケート調査の設問②の「ご記入いただく」と同様、本来であれば「御出発になる」「御出発なさる」等と相手側の行為につく尊敬語の一般形にするべきである。

⑤は先生に対し、「言う」の尊敬語の特定形「おっしゃる」を使っているが、さらに尊敬の助動詞「れる」をつけている二重敬語である。しかし、平成７年では70%以上の人が、平成15年、25年の調査でも60%以上の人が気にならないと回答している。補語を伴わない尊敬語の特定形（「いらっしゃる←行く・来る・いる」「なさる←する」等）では、二重敬語を用いても、気にならない人が増えていく傾向になることが予想される。⑤のような二重敬語の許容が増える反面、①②の「さ」や「れ」を入れる表現の使用は言葉の経済性から考えると減っていくことが考えられる。

６．まとめと今後の課題

「日本語検定」の試験問題から、選択問題における選択肢の中の誤答を中心に見てきた。一般に、ことばは変化していくものであるから、誤用であっても一期間流行し消えていくものと、そのまま定着していくものとがある。

以前から言われてきたことだが、尊敬語と謙譲語の使い分けは時に難しく、今後も混同・混用による誤用が生じることだろう。

敬語を含めた言語習得の場としては、主に家庭、学校、社会に分けられるが、学校でその規範を学び、家庭や社会の実践の場で使用していくしか正しい言語は身についていかないと思う。中でも敬語のように正しく習得することが難しいものに関しては、「日本語検定」のような自分の力を試す場を利用し、規範的な日本語を机上で学ぶのも一考である。

今回は取り上げられなかったが、アンケートの被験者がどのような言語習得の環境の中で生活し、(アルバイトやテレビ・ラジオなどの)影響を受けている結果、誤答を含むさまざまな回答に結びつくのかも考察に加えたい。

謝辞

小稿は、平成 26 年度大正大学スタッフ・ディベロップメント研究費及びスタッフ・ディベロップメント手当による研究成果の一部である。

参考文献

菊地康人（1997）『敬語』講談社学術文庫
菊地康人（2010）『敬語再入門』講談社学術文庫
文化庁編（1975）『「ことば」シリーズ 1　敬語』（第二版）文化庁
文化庁編（1986）『「ことば」シリーズ 24　続敬語』文化庁
文化庁編（1995）『新「ことば」シリーズ 2　言葉に関する問答集―敬語編―』文化庁
文化庁編（1996）『新「ことば」シリーズ 4　言葉に関する問答集―敬語編（2）―』文化庁
石川昌紀・小木曽智信・近藤明日子・日本語検定委員会(2007)『日本語検定公式 3 級過去・模擬問題集』矢田勉監修, 東京書籍
石川昌紀・小木曽智信・近藤明日子・日本語検定委員会(2008)『日本語検定公式 2 級過去・練習問題集　平成 20 年度第 1 回版』矢田勉監修, 東京書籍
石川昌紀・小木曽智信・近藤明日子・日本語検定委員会(2008)『日本語検定公式 3 級過去・練習問題集　平成 20 年度第 1 回版』矢田勉監修, 東京書籍
安達雅夫・川本信幹・熊谷芳郎・栗又正博・速水博司・福島公彦・
『日本語検定公式 3 級過去・練習問題集　平成 20 年度第 1 回版』矢田勉監修, 東京書籍
安達雅夫・川本信幹・熊谷芳郎・栗又正博・速水博司・福島公彦・
日本語検定委員会（2008）『日本語検定公式 3 級過去・練習問題集　平成 20 年度第 2 回版』川本信幹監修, 東京書籍
日本語検定委員会（2009）『日本語検定公式 3 級過去問題集 平成 21 年度版』川本信幹監修, 東京書籍
日本語検定委員会編（2010）『日本語検定公式 3 級過去問題集　平成 22 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2011）『日本語検定公式 3 級過去問題集　平成 23 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2012）『日本語検定公式 2 級過去問題集　平成 24 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2012）『日本語検定公式 3 級過去問題集　平成 24 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2013）『日本語検定公式過去問題集 3 級　平成 25 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2014）『日本語検定公式過去問題集 1 級　平成 26 年度版』東京書籍
日本語検定委員会編（2014）『日本語検定公式過去問題集 3 級　平成 26 年度版』東京書籍

参考 URL　（初見は全て 2014. 10. 1）

「国語に関する世論調査」の結果について
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h07/kekka.html（平成 7 年度）
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h08/kekka.html（平成 8 年度）
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h14/sankou3.html（平成 14 年度）
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h15/kekka.html（平成 15 年度）
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h19/kekka.html（平成 19 年度）
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h25/pdf/h25_chosa_kekka.pdf（平成 25 年度）